

平成28年度 地域懇談会

去る10月14日金曜日放課後に地域懇談会が開催された。この会は地域の方々と生徒会の生徒が地域の問題を懇談会形式で話し合うもので、地元潟上市の職員をはじめ町内会長、PTA 役員、学校評議員、警察職員、防犯・交通安全協会関係者に、今年度は新たに五城目警察署スクールサポーターや高校教育課指導主事の24名の参加をいただき開催した。学校側からは校長をはじめとする職員、生徒会執行部、各部活動・同好会の代表者も参加した。



校長からは、この会は平成6年に発足して以来続く学校と地域が交流できる貴重な機会であること。また、社会への参加意識が育まれるシチズンシップ教育にもつながるものであり、今後もこのような会を通じて地域との絆をつくっていききたいとのあいさつがあった。

その後は、生徒会生徒による進行で学校の概要説明が行われた。生徒会活動から各部活動等紹介、西高生からの地域に対する意見や地域の方々と行いたいイベントと続き、最後に最近の西高生の状況について説明を行った。その後、西高生に対する意見等をうかがう情報交換に移った。

情報交換では、生徒会が作成、近隣に配布し好評を得ている防犯・交通安全マップを中心に地域の危険箇所等留意すべきことについて地域の方々と生徒の間で情報を共有することができた。旧男鹿街道に通じる小道など、構造上危険な箇所に加え、送迎車など人為的に危険が生じる箇所などもあることや、追分三叉路が今後危険箇所となりうることなど市の職員や地域の方に注意喚起していただいた。また、西高前の交差点の危険性について、ある町内は市にかけあい、追分保育園では感応式信号を要望したが改善にはいたっていないという指摘に対し、警察の方からは予算などの関係で難しい点もあるが、学校と地域が連携して働きかけることで前進する可能性もあるとの助言をいただいた。



一方で、学校からの通学路の街灯等の要望があれば、要望にはすみやかに対応したいとの回答をいただいた。また、JR 職員からは、これから冬季にかけて余裕を持って電車を待ってほしいこと、また、遅れなどの対応には「どことレ」等を利用してほしいこと、夕方以降無人になる追分駅での不測の事態への対応などについて助言いただいた。